

LS13本学

受験番号

2014 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 商法

(60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 商法

【問題】

以下の〔事例〕を読んで、〔設問1〕〔設問2〕に答えなさい。

〔事例〕

上場会社P株式会社(以下、P社という)は会計監査人設置会社であり監査役会を設置する会社で、取締役の任期は1年である。P社代表取締役Aは、大株主のQから、次のような要請を受けた。

- ・なるべく早期に、保有する株式をすべてP社に買い取ってもらいたい。
- ・全株式を買い取ってくれるなら、譲渡価格は市場価格よりも1割安くても構わない。

〔設問1〕

P社が市場から自己株式を取得するには、会社法上どのような手続きが必要となるか。条文を示しながら(必要があればP社の定款規定を補って)、考えられる手続き(ひとつとは限らない)につき説明せよ。

〔設問2〕

P社がQから自己株式を取得するには、会社法上どのような手続きが必要となるか。条文を示しながら、その手続きにつき説明せよ。